



主な事業と決算額（一般会計）

「教育・文化」に関する事業

- ◎遺跡の森総合公園等省エネ化推進事業 306万5千円
- ◎Misato EIKEN Challenge (美里英検チャレンジ) 事業 132万4千円
- ◎学校運営協議会事業 9万6千円

「産業」に関する事業

- ◎多面的機能支払事業 3,448万8千円
- ◎工場立地促進奨励事業 1,324万2千円
- ◎有害鳥獣駆除事業 404万5千円
- ◎里山・平地林事業 127万2千円
- ◎中山間地域等直接支払事業 131万円
- ◎認定農業者等支援事業 99万2千円
- ◎新規就農総合支援事業 75万円
- ◎家畜伝染病予防注射事業 13万9千円
- ◎起業支援事業 2万5千円

「保健・医療・福祉」に関する事業

- ◎保育所運営事業 3億3,017万8千円
- ◎児童手当支給事業 1億5,641万円
- ◎地方創生交付金を活用した健康づくり事業 4,747万9千円
- ◎地域密着型サービス等整備費助成事業 4,115万1千円
- ◎こども医療費支給事業 3,928万8千円
- ◎子ども・子育て多子世帯応援事業 1,431万2千円
- ◎プレミアム付商品券事業 417万円
- ◎子ども・子育て支援事業計画策定事業 229万円

「街づくり」に関する事業

- ◎スマートIC整備事業 1億5,067万8千円
- ◎道路新設改良事業 1億2,218万円
- ◎道路維持事業 4,858万6千円
- ◎地域活性化施設検討事業 1,298万2千円

「生活環境」に関する事業

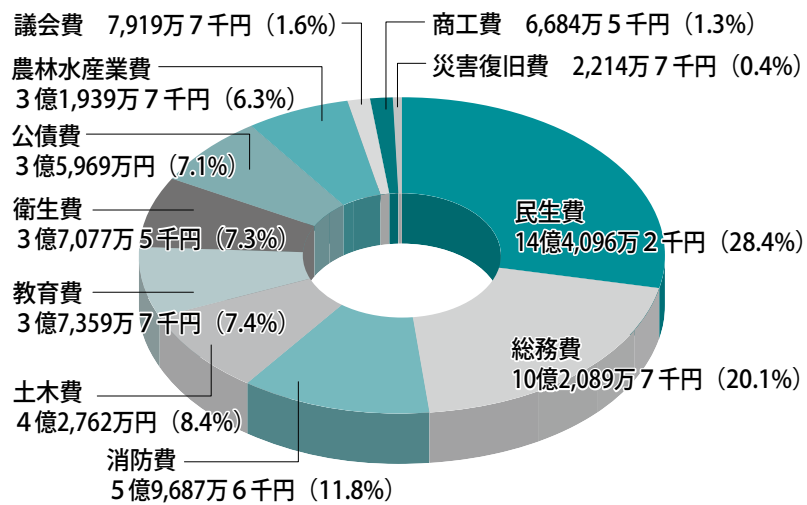
- ◎防災行政無線デジタルシステム更新事業 3億8,313万3千円
- ◎消防団装備充実強化事業 1,793万5千円
- ◎定住促進住宅奨励事業 1,070万円
- ◎浄化槽設置整備事業 584万8千円
- ◎交通安全施設整備事業 522万8千円
- ◎公共交通（タクシー）利用料金補助事業 466万5千円
- ◎地域防災計画等改定事業 348万7千円
- ◎生活排水処理基本計画改定事業 275万円
- ◎住宅改修費補助事業 110万円

「行政」に関する事業

- ◎ふるさと納税事業 1,876万9千円
- ◎公共施設個別施設計画策定事業 191万2千円
- ◎まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業 127万7千円

一般会計歳出の内訳

歳出総額 50億7,800万3千円



歳出の状況

一般会計の歳出の総額は50億7,800万3千円となり、前年度と比べて4億7,050万1千円の増となりました。これは、防災行政無線デジタルシステム更新事業や地域密着型サービス等整備費助成事業などが増加したことが主な要因となっています。

上のグラフは、歳出の内訳を目的別に表したものです。民生費の高齢者や障がい者、子育て支援事業などの経費が14億4,096万2千円で最も大きな割合を占めています。

特別会計・企業会計の決算額

会計区分	歳入	歳出
国民健康保険	14億922万8千円	13億6,779万7千円
住宅資金貸付事業	823万1千円	690万6千円
下水道事業	6,676万9千円	6,642万5千円
農業集落排水処理事業	2億5,383万2千円	2億4,989万2千円
介護保険	10億5,361万5千円	10億2,675万6千円
後期高齢者医療	1億1,306万2千円	1億1,222万8千円

※特別会計とは、保険料等の特定収入により事業を運営する会計です。

企業会計区分	収入	支出
水道事業	(収益的収支) 3億1,095万5千円	2億6,429万4千円
	(資本的収支) 1,902万9千円	1億8,769万7千円

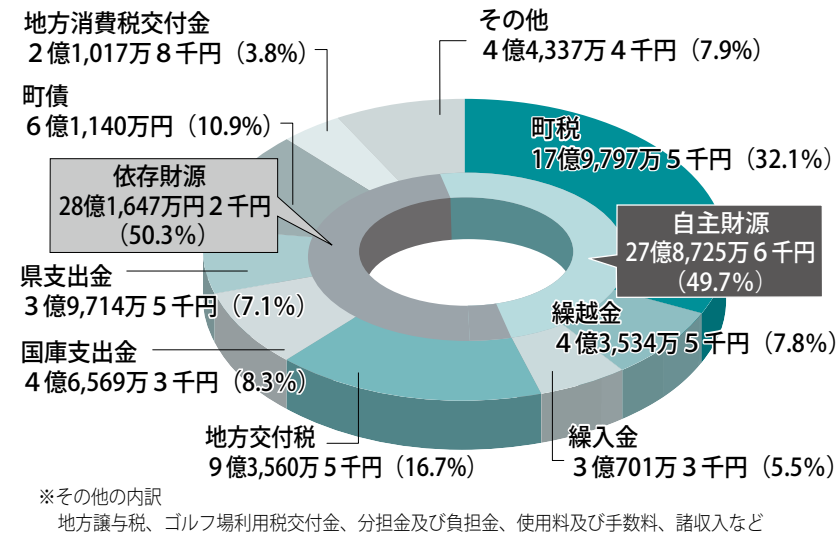
町民1人あたりでみる決算額

民生費	12万9千円	教育費	3万3千円	議会費	7千円
総務費	9万1千円	衛生費	3万3千円	商工費	6千円
消防費	5万3千円	公債費	3万2千円	災害復旧費	2千円
土木費	3万8千円	農林水産業費	2万9千円		

合計45万5千円 ※令和2年3月31日の人口11,167人で算出

一般会計歳入の内訳

歳入総額 56億372万8千円



歳入の状況

一般会計の歳入の総額は56億372万8千円となり、前年度と比べて5億6,088万1千円の増となりました。これは、防災行政無線デジタルシステム更新事業などに充てる町債が増加となり、また地方交付税が増加したことが主な要因となっています。

町の主要な財源である町税は、固定資産税が10億214万8千円（対前年度1,901万6千円の増）、町民税が6億7,183万4千円（対前年度1,374万9千円の減）となり、町税全体で17億9,797万5千円（対前年度550万円の増）となりました。この町税などの自主財源は49.7%を占めています。そのほか、地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債などの依存財源で歳入は構成されています。

健全化判断比率

財政の健全度がどの程度の水準であるかを表します。4つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると、自主的な改善計画を策定し、健全化を図ることになります。美里町では、いずれの指標も基準を下回りました。

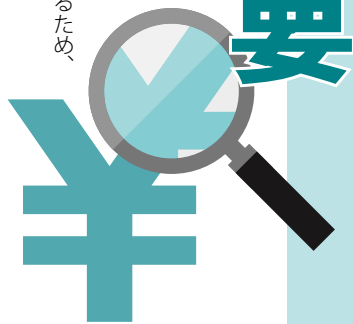
指標の名称	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
美里町の健全度	黒字	黒字	5.9%	25.6%
早期健全化基準	15%	20%	25%	350%

- 実質赤字比率 一般会計等の赤字額が、どの程度あるかを示しています。
- 連結実質赤字比率 町の全ての会計の赤字額が、どの程度あるかを示しています。
- 実質公債費比率 町の標準的な収入のうち、どの程度借金の返済に充てているかを示しています。
- 将来負担比率 借金の残高など町が将来負担しなければならない額が、町の標準的な収入の何倍あるかを示しています。

美里町の財政状況について
お知らせします。

※金額や数値は、四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

問合せ 総合政策課 財政係 ☎76-11114



用語の説明

- 自主財源 町税など町が自分で確保できる財源です。歳入に占める自主財源の割合が高いほど、自主性が高まり、財政も安定します。
- 依存財源 国や県から交付される財源や町債などがこれにあたります。
- 町税 皆さんに納めていただいた税金です。固定資産税（55.7%）、町民税（37.4%）、町たばこ税（4.5%）、軽自動車（2.4%）から構成されています。
- 繰越金 前年度の一般会計剰余金を繰り越したお金です。
- 地方交付税 所得税や酒税などの国税から、町の財源不足を補てんするために交付される、使い道の制限がない財源です。
- 国庫支出金・県支出金 児童手当など特定の事業を行うために国や県から交付された財源です。
- 町債 町がおこなう借金です。